

事業番号

0053

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	女性のライフプランニング支援総合推進事業	担当部署	生涯学習政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成23年度	担当課室	男女共同参画学習課	男女共同参画学習課長 笹井弘之			
会計区分	一般会計	施策名	I-2 生涯を通じた学習機会の拡大				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、 通知等	男女共同参画基本計画、教育振興基本計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	女性が社会で活躍するに当たり、主体的な働き方を選択していくことができるよう、多様な選択肢の存在や、ワーク・ライフ・バランスに関する情報を提供することにより、女性が自己の可能性やライフステージ別の自己イメージを若い時期から持てるよう支援する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	本事業では、女性が、就職・結婚・妊娠・出産といったライフイベントを視野に入れ、長期的な視点で、自らの人生設計(ライフプランニング)を行うとともに、女性が能力を発揮して、主体的に働き方・生き方を選択することを支援するため、女性のライフプランニングに係る学習プログラムの開発や学習機会の提供等を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	25	18	10	—	—
		補正予算	0	0	—	—	—
		繰越し等	0	0	—	—	—
		計	25	18	10	—	—
	執行額		21	18	5	—	—
	執行率(%)		84.0%	100.0%	45.0%	—	—
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	女性のライフプランニング支援に係る学習プログラムの受講者の評価 満足度[%] 目標値80% ※各年度で事業内容が異なるため、同じ成果指標ではかることが困難である。		成果実績	%	—	90.9	—
			達成度	—	—	—	—
	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	女性のライフプランニング支援に関するワークショップ受講者 満足度[%] 目標値80% ※各年度で事業内容が異なるため、同じ成果指標ではかることが困難である。		成果実績	—	(※)本目標値の算出根拠である社会教育調査は3年ごとに行われるため、成果測定は、27年度中(調査対象期間25年度実績)に行う		—
			達成度	%	—	25%	—
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	女性のライフプランニング支援に係るプログラム数		活動実績	プログラム数	6	—	—
	活動指標		(当初見込み)	プログラム数	(6)	—	—
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	女性のライフプランニング支援に関するワークショップ開催回数		活動実績	—	—	2	—
	※各年度で事業内容が異なるため、同じ活動指標ではかることが困難である。		(当初見込み)	—	—	(2)	—
単位当たり コスト	5百万円 (円/単位回)		算出根拠	事業成果の普及・啓発のためのホームページの作成に要した経費の合計			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内 訳	費 目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	—	—	—	※23年度限りの経費			
	計	—	—				

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<p>本事業は第三次男女共同参画基本計画の第11分野(男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実)にも記載されている優先度の高い事業であり、地方や民間が個別に行うものではなく、国が総合的に推進していく必要がある。</p> <p>不用率が大きくなっている理由は、事業の進捗を踏まえた報告書等の作成部数精査による執行額の減、議題の整理による委員会の回数減等によるものである。</p>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<p>支出先の選定は、HPに掲載するコンテンツの精選等により、単位あたりコストの削減に努める取組を通じて、適切に行なわれている。</p> <p>なお、経費の費目・使途は、委員会・ワークショップ講師等の謝金・旅費、HP作成の契約など、本事業の目的である女性のライフプランニングに係る学習機会の提供など、真に必要なものに限られている。</p>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>大学など他機関との連携を図ることで、事務負担の効率化を図る一方で、連携先との協働した事業計画の立案により内容の質の向上を図った。</p> <p>また、当事業は第三次男女共同参画基本計画を踏まえ、ライフプランニング支援の促進のため、定量的な成果目標を立てた上で実施しており、着実な進捗に努めている。さらに、当事業で得られた成果物は広く一般にも利用できるようホームページに掲載するなどの活用をはかっている。</p>
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名 -	
点検結果		<p>整備された施設や成果物は十分に活用されているか。</p>	
		<p>本事業は、第3次男女共同参画基本計画等を踏まえ、女性が、就職・結婚・妊娠・出産といったライフイベントを視野に入れ、長期的な視点で、自らの人生設計を行うことを支援する学習プログラムを開発することを目的としており、プログラム作成とその周知はおおむね達成されたと判断し、平成23年度限りで廃止する</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>所期の目標を達成したことから、平成23年度をもって廃止している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>第3次男女共同参画基本計画(内閣府男女共同参画局)</p> <p>http://www.gender.go.jp/kihon-keikaku/3rd/index.html</p> <p>男女共同参画社会の推進のために</p> <p>http://daniogaku.mext.go.jp/</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0023	平成23年行政事業レビュー	0052

※平成23年度実績を記入

文部科学省
5百万円

- ・女性のライフプランニング支援に関するワーク
ショップの開催
- ・女性のライフプランニング総合推進委員会の
開催
- ・報告書の作成
- ・ホームページの作成

本省執行分

- ・職員旅費 0.7百万
- ・委員等旅費 0.1百万
- ・謝金 0.2百万
- ・庁費 3.6百万

※庁費は消耗品等の購入であり、1
件100万円以上の支出はない

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の金
額が支出されて
いる者について
記載する。費目
と使途の双方で
実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	該当なし				
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	該当なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					